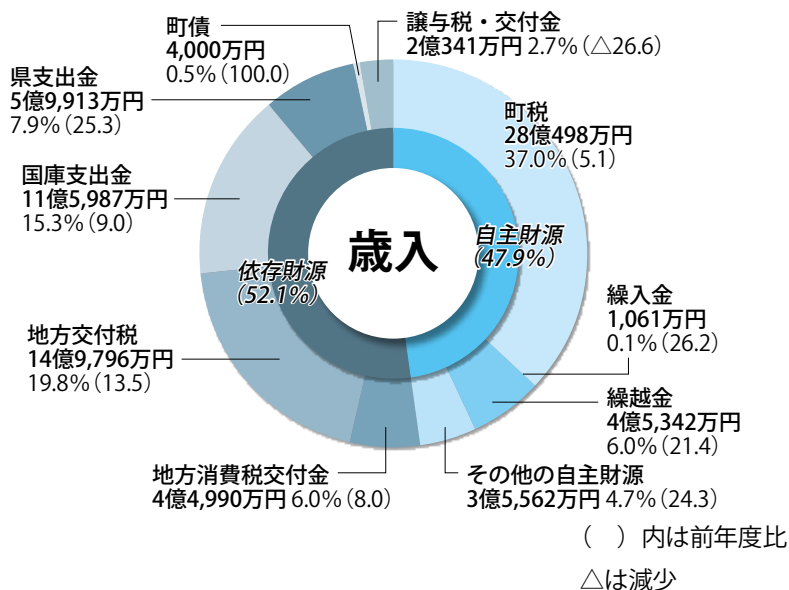


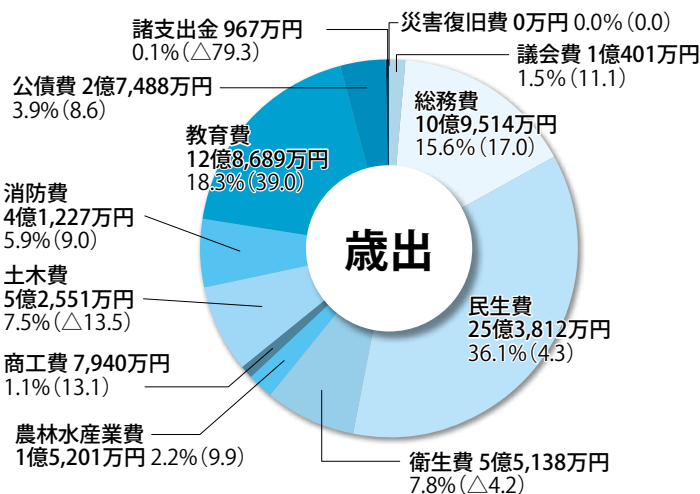
一般会計

歳入総額 75 億 7,490 万円

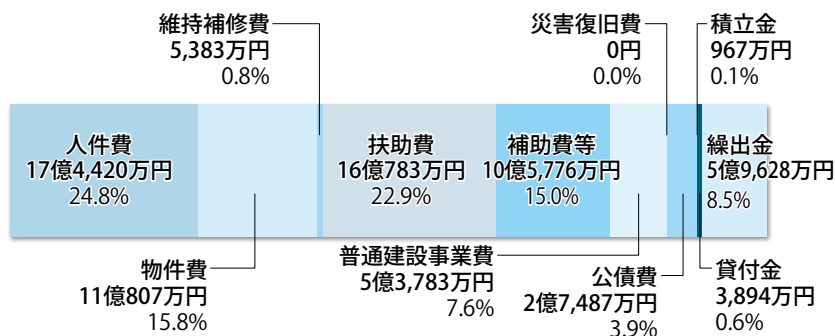


歳出総額 70 億 2,928 万円

●目的別内訳



●性質別内訳



町民 1 人あたりの歳出額

人口 17,238 人
2026 年 3 月 31 日現在

407,778 円



2025 年度

決算 報告

2025 年度の各会計決算がまとまりましたのでお知らせします。

各会計別の決算は、グラフと表のとおりです。

※金額は端数を四捨五入して、万円単位にしています。

政策経営課 ☎ 0465-85-5003

▶▶用語解説

自主財源 … 町税など町が調達する財源

依存財源 … 地方交付税など国や県から入る財源

町税 … 町民の皆さんに納めていただく税金など

繰入金 … 基金や他の会計から繰り入れるお金

繰越金 … 前年度の決算から繰り越されたお金

地方交付税 … 財政状況により国から交付されるお金

国庫支出金・県支出金 … 事業を行うために国や県からの補助金

議会費 … 議会の運営のための費用

総務費 … 戸籍や交通安全、防犯、町の資産管理などのための費用

民生費 … 福祉のための費用

衛生費 … 新型コロナウイルスワクチン接種、ごみ処理などの費用

農林水産業費 … 農業のための費用

商工費 … 商業・工業・観光のための費用

土木費 … 道水路や公園のための費用

消防費 … 消防・防災のための費用

教育費 … 教育や文化のための費用

公債費 … 町の借金を返すための費用

諸支出金 … 町の貯金を積み立てるための費用

災害復旧費 … 災害の復旧のための費用

総務費		土木費	
自治会集会施設等整備事業（補助金）	175 万円	道水路維持事業	1 億 1,901 万円
庁舎設備改修事業	473 万円	道水路改良事業	7,313 万円
公用車購入事業	156 万円	ブロック塀撤去費等補助事業（補助金）	30 万円
交通安全施設等設置事業	22 万円	町営河原住宅階段手摺塗装事業	31 万円
民生費		消防費	
保健福祉センター改修事業	92 万円	消火栓移設事業	132 万円
衛生費		第1分団待機宿舍建設事業	5,366 万円
住宅用スマートエネルギー設備導入事業（補助金）	254 万円	急傾斜地崩壊対策事業（負担金）	100 万円
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス等導入事業（補助金）	74 万円	教育費	
合併処理浄化槽整備事業（補助金）	167 万円	上大井小学校維持改修事業	570 万円
農林水産業費		湘光中学校防球ネット補修事業	21 万円
農道・農業用水路維持管理事業	466 万円	文化財保護事業	17 万円
鬼柳堰湛水防除事業（負担金）	335 万円	生涯学習センター改修事業	3,326 万円
地域水源林整備事業	331 万円	図書館窓ガラス UV カットフィルム貼付事業	36 万円
商工費		そうわ会館改修事業	514 万円
ハイキングコース維持改修事業	493 万円	総合体育館改修事業	1 億 9,763 万円

特別会計

国民健康保険			後期高齢者医療			介護保険		
歳入総額	歳出総額	差引	歳入総額	歳出総額	差引	歳入総額	歳出総額	差引
15 億 5,705 万円	14 億 6,375 万円	9,330 万円	3 億 4,729 万円	3 億 3,912 万円	817 万円	15 億 2,954 万円	14 億 8,252 万円	4,702 万円

企業会計

会計名		収入総額	支出総額	差引
水道事業	収益的収支	2 億 9,964 万円	2 億 3,984 万円	5,980 万円
	資本的収支	1 億 4,360 万円	2 億 4,395 万円	△ 1 億 35 万円
公共下水道事業	収益的収支	5 億 1,837 万円	4 億 8,050 万円	3,787 万円
	資本的収支	4,478 万円	1 億 4,034 万円	△ 9,556 万円

※水道事業の資本的収支は、設備投資に関するもので、主な支出は工事費です。差引の△1億35万円は内部留保などで補填しました。

※公共下水道事業の資本的収支は、設備投資に関するもので、主な支出は借入金の返済です。差引の△9,556万円は内部留保などで補填しました。

財政の健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、町の 2025 年度決算における健全化判断比率と資金不足比率を公表します。大井町は、どの指標についても基準をクリアしています。今後もこの数値を維持しつつ、的確な財政運営を行っていきます。

◆健全化判断比率の状況

	比率		早期健全化基準
	2025 年度	2024 年度	
実質赤字比率	赤字なし (△ 8.76%)	赤字なし (△ 8.99%)	15%
連結実質赤字比率	赤字なし (△ 29.66%)	赤字なし (△ 27.09%)	20%
実質公債費比率	△ 1.8%	△ 1.7%	25%
将来負担比率	マイナス算定 (△ 46.6%)	マイナス算定 (△ 48.4%)	350%

◆資金不足比率の状況

	比率		経営健全化基準
	2025 年度	2024 年度	
水道事業会計	資金不足なし (△ 168.1%)	資金不足なし (△ 143.6%)	20%
公共下水道事業会計	資金不足なし (△ 229.8%)	資金不足なし (△ 192.8%)	

実質赤字比率

福祉・教育・道路整備などを行う一般会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対して、どのくらいの割合になるかを示す指標です。

連結実質赤字比率

一般会計・特別会計・企業会計すべての会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対して、どのくらいの割合になるかを示す指標です。

実質公債費比率

借金の返済額やこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す指標です。大井町は早期健全化基準の 25%を下回っています。

将来負担比率

一般会計の借金の残高や、将来支払っていく可能性のある負担などを指標化し、財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標です。大井町は早期健全化基準の 350%を下回っています。

資金不足比率

公営企業の資金不足額が、事業の規模に対して、どのくらいの割合になるかを示す指標です。